

案内・受付グループ 岩崎

今回の活動では、①このグループは何のグループか。②どんな風に案内・受付をするか。を子どもたちに問いかけてました。

しっかりと活動内容を理解している子どもたちは、「案内をする」や「チケットを作ってお母さん達に配る」等意見が出ました。その後、実際に先生やお母さん先生が困っているお客さんのフリをして案内の練習をしました。

「ホールはどこだろう？」と言うと「こっちは」と連れて行ったり、「消毒してから入ってください」とコロナ対策をしようとする姿も見られました。

コロナ禍の中で、開催方法等例年とは変更になる所もあるかと思いますが、子どもたちの考えを出来るだけ実現出来るよう進めていきたいと思ひます。

次回：チケット作りをしますので、ご家庭にチケット等ある方は、持って来てください。



道具グループ 本山

今回はグループの活動内容とゲーム形式で運ぶ練習をしました。

自分たちのグループであることを尋ねると「どうぐをはこぶこと」と「どうぐをつくること」と言って活動の内容確認していきました。

その後は、道具運びゲームで、2人で協力をしてブロックを運ぶゲームをしました。こすもす・ひまわりに分かれて行いましたが、両クラスともゆっくり落とさないようにだり、「もっとまっすぐもったほうがいい」等、工夫をしていました。やっている最中は、本番で荷物を運ぶかのように荷物運びゲームをしていました。

子どもたちと話し合い、次回は昨年度の道具を修繕しつつ、修繕が難しいところは新しく作っていく予定です。



司会グループ 足立

初めてのお手伝い隊の活動では、仕事内容の確認を行ないました。「注意(事項)の話をする」「長い時間座ってるのが疲れるから体操(ストレッチする)」「劇の名前(タイトル)を言う」等、思い付く内容を挙げていきました。又、去年度の本番の映像を見て、その他どのようなことが出来るのか考えました。

おおまかな仕事内容が決まってからは、次回からどのように活動を進めていくのか話し合いました。各クラス、劇のタイトルはまだ決まってないので、まず注意事項で何を保護者に伝えるのか決めていくことにしました。

今回は話し合いが主でありましたが、長い時間集中して取り組むことが出来ていました。



← 発言する人を子ども同士で当て合い進めていきます。



← 去年度の映像を見て参考にしています。

年下グループ 木村

年下グループでは、はじめに自己紹介として「年下グループで頑張りたい事」を発表しました。「絵本の読み聞かせをしたい」「赤ちゃん組を笑顔にしたい」「お世話を頑張りたい」等自分の意気込みを言うことが出来ていました。

その後はどんな仕事内容があるかの確認。「絵本を読んであげる」「一緒に待つ」「本番中に舞台に出るんだよと教えてあげる」とできそうなことをたくさんあげることができましたが、勝手に年下グループだけで決めていいのかという話になると「(クラスの先生に)聞きに行く！」となったので次回は各クラスにお手伝い内容を聞きに行くことになりました。また、年下のクラスに顔と名前を覚えてもらうために、一覧表を保育者と一緒に作ったので、それも渡しに行く予定です。

